令和４年度第３回
瑞浪市夢づくり地域交付金等事業審査会　議事録

日時：令和５年３月１５日（水）　午後６時００分から午後８時１５分
場所：瑞浪市役所　保健センター３階大会議室

出席委員：山内　正雄(委員長)、柴田　洋子、辻本　紀み子、大宮　康一
※委員５名中４名の出席し、委員の過半数の出席となり、瑞浪市夢づくり地域交付金等事業審査会規則第６条第２項の規定により、本会議は成立。

事 務 局：瑞浪市長　水　野　光二
：まちづくり推進部長　小木曽　昌弘
：市民協働課長　加　藤　博史
：まちづくり支援係長　鈴　木　友恵
：まちづくり支援係　中　筬　高弘

日　　程：
１　あいさつ
２　市民活動補助金事業審査の進め方について
３　市民活動補助金事業審査
４　ステップアップ事業審査の進め方について
５　ステップアップ事業審査
６　全体講評
７　事務連絡
８　閉会

【１．あいさつ】
・市長あいさつ
○本日の夢づくり地域交付金等事業審査会は、「市民活動補助金事業審査」として「美濃源氏大太鼓保存会」と「瑞浪暮らしのマーケット実行委員会」、「ステップアップ事業審査」として「釜戸町まちづくり推進協議会」から申請があった事業について審査を行う。
○「美濃源氏大太鼓保存会」は長く活動してみえるが、この３年間はコロナ禍で活動できなかったため、活動を再開できるよう前向きに取り組んでいる。
○「瑞浪暮らしのマーケット実行委員会」は若い方が中心に活動してみえ、本市が目指している若者の力による市の活性化に向け、彼らは実行してくれるのではないかと思っている。
○「釜戸町まちづくり推進協議会」は、まちづくり推進協議会の方が竜吟湖の近辺に設置した、子どもたちの遊具や遊歩道などの施設整備を行いたいと聴いている。この施設は、新聞などでも頻繁に報道されており、県からの評価も高く、県からの補助金も活用して整備すると聴いている。
子どもたちが安全に遊べる空間になるよう、この事業を実施していただければと思っている。
○今回の審議会と関係ないが、域学連携推進事業で実施している「ミライ創ろまい課」が主催となり、３月１８日に瑞浪駅前周辺でイベントを開催する。「ミライ創ろまい課」では、

高校生が主体となり、本年度は本市の課題を分析して課題解決できる事業を計画し、来年度は課題解決に向けた事業を実施すると聴いている。現実的で実施可能な事業を計画されているので、私としてもうれしく思っている。市としても、彼らの計画を実現することで、彼らの人生の自信に繋がるよう、支援していきたいと考えている。

○今回、審議する交付金等は、地域の思いを実現するための制度なので、より効果の上がるレベルの高い事業になるよう、慎重な審議をお願いしたい。

・審査委員長あいさつ

○新型コロナウイルスの感染が岐阜県を含め全国的に落ち着いてきている。
地域の思いのこもった事業なので、事業の実現にあたり、しっかり質問しアドバスにもなる審査を行いたいので、委員の方々のご協力をお願いする。

【２．市民活動補助金事業審査の進め方について】

≪事務局より説明≫

【３．市民活動補助金事業審査】

美濃源氏大太鼓保存会

●委員
財政的に大変だと思いました。保存会で会費の徴収はしていないとのことだが、商店街連合会や企業からの補助等の受入は考えていますか？

○美濃源氏
昔は、商店街連合会から補助金があったが、商店街の衰退により、３年前から補助金はなくなりました。この３年間は、保存会の蓄えや保存会の出演料や講師料で活動しています。９年前に太鼓が破れた時は、商店街連合会から寄付をいただき修理させていただきました。

●委員
少子化により子どもの人口が減少する中、子どもへの参加の呼びかけはどのように行っていますか？

○美濃源氏
小学校にお願いし、５年生・６年生の児童を対象に行っています。また、参加した子どもたちが、学校で和太鼓教室が楽しかったと宣伝してくれるので、新しい子どもの参加者に繋がっています。

●委員
各地域の小学校で子どもたちの参加を呼びかけていますか？
また、和太鼓教室に参加できる子どもは何人ですか？

○美濃源氏
文化センターで実施する和太鼓教室は学校ごとに行っているが、各地区の小学校で参加を呼び掛けています。
一回の和太鼓教室で参加できる子どもの人数は、所有する太鼓の数から２０人が限度と考えています。

●委員
太鼓は商店街連合会が所有しているとのことだが、今後、活動していく上で、保存会が所有し管理していくことは考えていますか？
○美濃源氏
和太鼓の所有を含め、全てを保存会だけで管理するのは、金銭的に難しいと思います。
和太鼓の保管は、和太鼓の練習場所が文化センターなので、文化センターに保管しています。
●委員
保存会は太鼓を打つだけでなく、太鼓の維持・管理も含め長期的な体制を検討していかないと、将来的に活動を継続することが難しいと思います。今すぐにではないが、保存会を中心に地域を巻き込んだ体制を考えてほしい。

●委員
和太鼓教室は、子どもたちに、親ではなかなか教えられない「協調性」や「礼儀作法」などを教えることができる、素敵な活動だと思う。今後の活動を楽しみにしている。
○美濃源氏
子どもたちをしっかり指導し、子どもたちに練習の集大成として発表会を開催していきたい。

●委員
今後、この事業は、活動費の問題や和太鼓を子どもたちに興味を持ってもらう方法を考えるなど、どのようにして活動を継続していくかを皆さんで共有し、市と相談しながら進めていくと良いと思う。

・市長コメント
分かりやすい説明だったので、活動がよく理解できました。
立派な活動なので、是非、活動を継続してほしいです。行政としても、財政面や子どもたちの発表の場の提供など、支援できればと思います。

瑞浪暮らしのマーケット実行委員会
●委員
瑞浪駅前広場やMビルでのマーケットの開催は、市役所に駐車して会場まで歩くなどできますが、瑞浪市民公園は、会場までの移動方法が限られると思います。瑞浪市民公園で開催する場合、駐車場の確保やシャトルバスの運行など、どのように考えていますか？
また、今回の説明で、何度か施設の老朽化の話がありましたが、どの施設のことですか？
○瑞浪暮らし
会場までの移動手段は、ボランティアの方にお願いし、瑞浪駅から市民公園でシャトルカー３台の運行を考えています。また、今回、夜にマーケットを開催する理由の一つとして、夜は市民公園の駐車場を利用する方が少ないことから、駐車場の確保の意味もあります。
施設の老朽化については、市民公園にある野外舞台のことです。全体的にはとてもきれいで壊れているところはないのですが、古く感じています。

●委員
今回、パブリックスペース物品購入に多くの予算を掛けているが、具体的にどうするのですか？
○瑞浪暮らし
基本的には、木をベースにして、パブリックスペースの形状にあったテーブルやイスを制作し、パブリックスペースに設置します。来場された方々に、長時間、食事や会話を楽しんでいただける場所を提供したいと考えています。
●委員
このテーブルやイスは今回のパブリックスペースに常設しますか？
○瑞浪暮らし
常設はしません。他のイベントでも利用します。また、貸出しもしたいと考えています。

●委員
今回のようなマーケットは、今後も継続して実施しますか？
○瑞浪暮らし
はい。実施します。
●委員
非常に良い取り組みなので、継続して行ってほしいと思います。
多くの方に来ていただけるよう、ＰＲの仕方を考えてください。

●委員
大変、良い取り組みだと思いますが、あえて、厳しいことをいわせていただきます。今回の説明では「クリエーターのため」との発言が多かったと思います。この補助金は「市民のための事業」への補助金であることから、市民のために何を行うかを意識して説明された方が良いかと思いました。

●委員
インスタグラムの活用など若い方を対象にした企画だけでなく、中高年の方も楽しめるような企画もお願いしたい。

・市長コメント
大変すばらしい、プロのような説明でした。
本市では、森ビルと一緒に瑞浪駅前の再開発を行っていますが、本市ならではの開発をしたいと考えています。若い方が中心となるまちづくりをしなければ、市の活性化もできないし、活気もなくなると考えています。行政としても支援しますので、継続してこの事業を実施してほしいと思います。
また、本市は来年度、市政７０周年を迎えます。７０周年事業として「ミライ創ろまい課」が共催となり「映画祭」などの事業と協力して活動することを計画していますので、是非、連携して、市を盛り上げてほしいと思います。

【４．ステップアップ事業審査の進め方について】
≪事務局より説明≫

【５．ステップアップ事業審査】

釜戸町まちづくり推進協議会

●委員

私は市外から移住者ですが、移住して直ぐに、竜吟の滝周辺に行きました。サーキット場もあり、自然も豊かなので、このような環境のある瑞浪市の子どもたちは、大変、幸せだなと感じましたので、市もこのことをアピールしてほしいと思います。

アスレチックなどの遊具は木でできているため、安心安全の面で気配りされていると思いますが、遊具の耐久年数などの管理はどのように行っていますか？

○釜戸

釜戸町の財産区にある間伐材を活用し、定期的に遊具に使われている木材を交換して耐久性を確保しています。

●委員

何度も子どもと一緒に「ふれあい館」に遊びにいきましたが、写真を撮影してくれるなど、大変よくしていただきました。この環境を生かし、子どもたちがすくすく育ってくれたらいいなと思います。また、高齢者の方にも、健康のために歩いていけるところなので、今後の活動を応援したい。

○釜戸

釜戸駅からも近く、国道１９号線からも近いので、多くの市民や市外の方に来ていただけるよう、しっかりＰＲをしていきます。

●委員

計画されている整備を行うには、３００万円では少ないと思うのですが妥当な金額ですか？

○釜戸

金額が多いか少ないかは中々難しいのですが、使用する木材は財産区から無償提供されますし、山の整備についても予算内で実施していただける業者の方が見えます。また、遊具についても、安全第一にではありますが、一括で発注すれば安く制作することができると考えています。

●委員

客観的にみて、安全が第一優先なので、遊具を一括で設置するのではなく、各遊具一つずつ、業者が責任をもって設置する方が、何かあった時に対応しやすいと思います。遊具は安全が第一なので、値段だけでなく、しっかり、設置業者と話しをしながら進めてほしい。

○釜戸

今のふれあい館の遊具は、全てふれあい館の職員が作ったものなので、今回のステップアップ事業を機に、法やルールに則って見直しながら整備していきたい。

●委員

他市の施設で手入れされていない遊具を見たことがある。安心安全を第一優先に事業を進めてほしい。

・市長コメント

素晴らしいプレゼンテーションをありがとうございました。

昨年、孫を連れて遊びに行きましたが、危険な箇所もあるような気がしました。

手作りの遊具にボランティアでの運営では限界があります。マスコミにも取り上げられ、

注目される場所になったので、多くの方が安全に楽しめる施設になるようお願いします。
予算内で整備しきれない箇所については、県や国の補助金制度の活用を検討しながら整備を行い、さらに安全でみんなが楽しんでいただける、レベルの高い場所になればと思います。

【６．全体講評】
・市長コメント
今回、ご審査いただいた事業は、中身が濃くレベルの高いもので、大変、良かったと思います。
長時間に渡り、適切な質問やご指摘をいただくなどご審議いただきまして、誠にありがとうございました。

【７．事務連絡】
≪事務局より説明≫

【８．閉会】
≪まちづくり推進部長より閉会のことば≫

以　　上